

「江東区子ども読書活動推進計画（一次計画）」評価票

1 家庭および地域における読書活動の推進				
施策項目	所管	事業概要	取組み実績（平成23年度～平成27年度）	評価・二次計画での取り組み等
(新) 乳児の図書館デビューを応援	図書館	乳幼児を対象に発行しているブックリストの内容を充実させ、配布する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤ちゃんおはなし会実施館を7館から9館へ拡大</li> <li>乳児対象の読書案内を配布</li> </ul>	赤ちゃんおはなし会実施館を拡大することにより、乳児の図書館デビューを支援することができた。引き続き、赤ちゃんおはなし会実施館の拡大を進めていく。
(新) 幼児向け読書案内の作成	図書館	幼児（就学前）までの子どもを対象とした、保護者向けの読書案内を作成。読み聞かせの方法や推薦図書などを掲載する。	<b>【幼児図書目録「赤ちゃんと小さい子のほんだな」】</b> 平成23年度 12,000部 平成24年度 14,000部 平成25年度 14,000部 平成26年度 14,000部 平成27年度 20,000部	利用者からのご意見を取り入れながら、幼児図書目録「赤ちゃんと小さい子のほんだな」の編集を行なうことができた。引き続き、乳児・幼児向け読書案内・図書目録を作成し、読書の魅力を発信していく。
子育て支援施設（放課後支援施設）への読み聞かせボランティア活動の拡大	子育て関連施設	子育て関連施設等へ登録ボランティアによるおはなし会を実施する。（図書館読み聞かせボランティアH22年度登録者数134人）	各子ども家庭支援センターで毎月1～4回、保護者などのボランティアスタッフがおはなし会、手遊びを実施	読み聞かせボランティアと連携し、子育て支援施設でおはなし会を実施することで、子どもたちの読書活動の機会の拡充を図ることができた。
	放課後支援施設		<b>【おはなし会（児童館・江東きつずクラブ）】</b> 平成23年度 7施設 平成24年度 6施設 平成25年度 11施設 平成26年度 14施設 平成27年度 21施設	
	図書館		<b>【読み聞かせボランティア登録者数】</b> 平成23年度 132人 平成24年度 133人 平成25年度 158人 平成26年度 148人 平成27年度 157人	
保健相談所での乳幼児健診時等でのおはなし会の実施・ブックリスト「赤ちゃんへのおすすめの本」の活用	保健予防課	乳幼児向けの推薦図書のリストを作成し、保健相談所の乳幼児健診や育児相談等でのおはなし会時に配付する。	両親学級・育児学級・育児相談・3歳児健診で図書館の読み聞かせボランティアによるおはなし会を実施及びブックリストを配布（おはなし会の実績については下記のとおり）	保健相談所の乳幼児健診時等で、おはなし会・図書館の利用案内等の配布を行った。普段、図書館を利用しない方もおはなし会に参加することができるため、多くの親子へ読書の楽しさを伝えることができた。引き続き保健相談所の連携し、読書の魅力を伝えていく。
	図書館		<b>【おはなし会】</b> 平成23年度 140回 4,938人 平成24年度 160回 5,167人 平成25年度 195回 9,098人 平成26年度 217回 10,950人 平成27年度 254回 12,080人	
こどもの本の再利用	子育て支援施設	毎年、絵本を含めたリサイクルバザーを行い、こどもの本の再利用を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各子ども家庭支援センターでリサイクルバザーを年1～2回開催してこどもの絵本を再利用</li> <li>「どうぞの箱」、「リサイクルの掲示板」を設置して利用者から提供された絵本を再利用</li> </ul>	公共施設向けリサイクル会を実施し、こどもの本の再利用を図ることができた。また、各施設で独自に寄贈を受け資料活用し、計画に沿った形で施策を進めていくことができた。
	放課後支援施設	家庭で不要になった本の寄贈を随時受け付け、再利用を図る。	児童館・江東きつずクラブ <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の家庭で不要になった書籍の提供を受け再利用</li> <li>図書館より定期的に不要になった本の寄贈があり再利用</li> </ul>	
	図書館	家庭での役割を終えたこどもの本の提供を地域に呼びかけ、図書館のリサイクル資料と合わせて施設に提供する。学校、保育園、幼稚園、児童館、公立私立の子育て支援施設・放課後支援施設等に通知して実施する。	<b>【公共施設向けリサイクル会（8月・2月）】</b> 平成23年度 小中学校19校、幼稚園・保育園38園、児童館他46施設 平成24年度 小中学校18校、幼稚園・保育園19園、児童館他22施設 平成25年度 小中学校15校、幼稚園・保育園45園、児童館他37施設 平成26年度 小中学校21校、幼稚園・保育園45園、児童館他35施設 平成27年度 小中学校23校、幼稚園・保育園45園、児童館他37施設 <b>【提供資料】</b> 平成23年度 17,178点 平成24年度 8,339点 平成25年度 15,829点 平成26年度 17,521点 平成27年度 17,720点	
出張おはなし会	子育て支援施設	出張おはなし会だけを目的に行っているものはないが、出張ひろば・青空ひろば内で本の読み聞かせを行っている。	各子ども家庭支援センターが開催する「出張ひろば」のプログラムの1つとして、絵本の読み聞かせを実施	読み聞かせボランティアと連携し、出張おはなし会を実施することができた。幼稚園・小学校だけではなく、児童館からの依頼も増え、実績に繋げることができた。
	図書館	地域館で要望がある学校や園に実施。平成21年度は全館合計27回実施。	<b>【出張おはなし会】</b> 平成23年度 12回 814人 平成24年度 10回 643人 平成25年度 11回 585人 平成26年度 27回 2,023人 平成27年度 19回 1,400人	

1 家庭および地域における読書活動の推進				
施策項目	所管	事業概要	取組み実績（平成23年度～平成27年度）	評価・二次計画での取組み等
図書館の団体利用の促進	子育て支援施設	子ども家庭支援センターとしての図書館の活用を促している。	近隣図書館の利用を促すポスターの掲示やリーフレットの配布、推薦図書を紹介を各子ども家庭支援センターで実施	平成23年に団体貸出セットを整備し、貸出冊数は年々増加している。こどもたちの読書環境整備において効果的な事業である。
	放課後支援施設	散歩を兼ねて図書館を利用している。	江東きつずクラブ・学童クラブ・児童館 ・散歩を兼ねて図書館を利用 ・定期的に団体貸出を利用	
	図書館	希望団体から登録を受付、配本サービスを行う。学校、保育園、幼稚園、児童館、公立私立の子育て支援施設・放課後支援施設等の団体利用を受け付けている。	【団体貸出セット】 平成23年 78セット（2,729冊）を整備 【団体貸出冊数】 平成24年 82回 延べ 3,076冊 平成25年 137回 延べ 6,053冊 平成26年 144回 延べ 6,173冊 平成27年 234回 延べ10,698冊	
(新)青少年センターとの連携	青少年センター	中高生向けコーナーを設置し青少年の利用を図る。センターの事業として「手作り絵本講座」を実施している。	中高生向けコーナーを設置	青少年センターと連携し、センターの利用者を対象に積極的な図書館PRを行うことができた。
	図書館	青少年センターの中高生向けのコーナーの充実をセンターと協働して取り組む。また、センターの事業参加者や施設を利用する子育てサークルなどに向け、読書の魅力をアピールする。	・青少年センターで中学生が作成したおすすめの本の紹介を掲示 ・中高生向けコーナーでブックリストを配布	
2 学校における読書活動の推進				
施策項目	所管	事業概要	取組み実績（平成23年度～平成27年度）	評価・二次計画での取組み等
学校運営における読書活動の位置づけ	指導室	研究協力校運営事業（幼稚園・小学校・中学校）において「学校図書館の有効活用」の課題を設定し、教育課題研究校として指定する。	【平成23年度】 ・教育課題研究校（学校図書館の有効活用）の指定 ＜第一大島小学校＞ ①教育活動全体において、計画的な読書活動や学校図書館活用の推進 ②学校図書館を活用した教科等の学習活動の充実 ③公共図書館と連携し、情報活用能力の育成 ・学校図書館活用授業計画、公共図書館との連携（団体貸出） ・学校図書館を活用した単元の開発	全小中学校で学校経営方針に読書活動の推進が位置づけられている 【学校経営方針に学校図書館活用の推進が位置づけられている小中学校】 平成23年度 53校 平成24年度 52校 平成25年度 52校 平成26年度 67校（全校） 平成27年度 68校（全校） 【読書活動や学校図書館活用を推進する校内分掌組織がある小中学校】 平成23年度 63校 平成24年度 67校（全校） 平成25年度 67校（全校） 平成26年度 67校（全校） 平成27年度 68校（全校） 【教員の読書に関する指導力向上や学校図書館活用の推進のための校内研修を実施（企画）している小中学校】 平成23年度 22校 平成24年度 21校 平成25年度 21校 平成26年度 未取得（平成25年度より隔年調査） 平成27年度 22校
	学校	年次計画に読書推進のための各事業を組み込み、実施する。		
学校図書館整備事業	学務課	各校の学校図書館図書標準の達成状況を考慮しつつ、図書を計画的に購入	ボランティアが図書の整理や貸出・返却業務など、学校図書館の運営に関する支援を実施	学校図書館図書標準に基づき、図書（蔵書数）の充実に努めた。二次計画の中では図書館のリサイクル事業を活用するなど、引き続き図書（蔵書数）の充実に図る。また、蔵書数だけでなく、内容の充実に配慮した選書を実施していく。
	学校	学校図書館図書標準に沿った図書の充実を図る。		
学校ボランティアやPTAによる読み聞かせ	学校幼稚園	ボランティアやPTAによる読み聞かせを行い、本への興味を高める一助とする。	学校ボランティアやPTAによる読み聞かせを実施	学校ボランティアやPTAによる読み聞かせを実施し、こどもたちの読書活動推進を図ることができた。
	図書館	学校で読み聞かせを実施しているボランティア等からの本の選び方等の相談を個人的に受け、アドバイスをを行っている。	ボランティアから相談を受けた場合に、図書館職員が適宜アドバイス等を行っている。	

2 学校における読書活動の推進				
施策項目	所管	事業概要	取組み実績（平成23年度～平成27年度）	評価・二次計画での取組み等
(新) 学校司書配置事業	学務課	学校司書（専任）を配置することで、学校図書館の機能性を高め、こどもの読書活動の促進、授業における学校図書館活用の促進、教員への学習資料支援、「学びと心のオアシス」としての学校図書館づくりをめざす。	<b>【平成23年度】</b> 全小学校に週1回6時間、司書または司書資格を持った専任の学校司書を配置 <b>【平成26年度】</b> 26学級以上の大規模校3校（明治小・豊洲小・豊洲北小）に週2回12時間、司書または司書資格を持った専任の学校司書を配置 <b>【平成27年度】</b> 26学級以上の大規模校4校（明治小・豊洲小・豊洲北小・浅間堅川小）に週2回12時間、司書または司書資格を持った専任の学校司書を配置	司書の配置により、学校図書館の機能性を高め、授業での学校図書館の活用促進を図ることができた。 引き続き二次計画の中で、本に親しむ環境づくりに取り組んでいく。
学校ボランティアやPTAによる本の修理事業	学校	「社会教育活性化21世紀プラン」で養成した「こどもの本の修理人」による学校での活動がPTAの自主的な活動に波及している。	ボランティアが学校図書館の書架見出し、飾りつけ、図書の修繕など、施設の整備に関する支援を実施	ボランティアによる図書の修繕などを通して読書環境の整備を図った。 引き続きボランティアと連携し、学校図書館の整備を進めていく。
	図書館		本の修理セットの貸出を実施（自立活動支援）	
図書委員会活動	学校	小学校高学年の児童、中学生が学校図書館の図書委員として資料の貸出・図書新聞発行などの活動を行う。	<b>【図書委員が作成した「図書だより」等を活用した読書指導を行っている小中学校】</b> 平成23年度 34校 平成24年度 35校 平成25年度 29校 平成26年度 未取得（平成25年度より隔年調査） 平成27年度 56校 <b>【図書委員による読み聞かせを実施している小中学校】</b> 平成23年度 28校 平成24年度 35校 平成25年度 23校 平成26年度 24校 平成27年度 29校 <b>【学校図書館の利用について図書委員が資料を作成したり、説明したりしている小中学校】</b> 平成23年度 47校 平成24年度 56校 平成25年度 45校 平成26年度 45校 平成27年度 57校 <b>【学校図書館の利用状況に関する統計をとっている小中学校】</b> 平成23年度 29校 平成24年度 49校 平成25年度 39校 平成26年度 未取得（平成25年度より隔年調査） 平成27年度 51校	「図書だより」の作成・読み聞かせ・学校図書館利用ガイダンスなど図書委員会活動が活発に行われ、計画に沿って施策を進めることができた。
図書館ガイダンス・ブックトーク	学校	読書の時間などを活用し、本への関心を持たせつつ、図書館や情報の活用方法を学ぶ。	<b>【ボランティアが読み聞かせやブックトーク等の読書活動の推進を行っている小中学校】</b> 平成23年度 33校 平成24年度 35校 平成25年度 35校 平成26年度 43校 平成27年度 44校	ボランティアによる読み聞かせやブックトークを実施し、読書の楽しさを伝える機会の拡充を図ることができた。
読書の時間の取り組み	学校	学校での自主的な取り組みとして、朝の読書時間、校内読書週間・月間の設定、読書に取り組む。	<b>【朝や昼休み等に読書時間を設けている小中学校】</b> 平成23年度 63校 平成24年度 62校 平成25年度 57校 平成26年度 65校 平成27年度 68校 <b>【読書週間・読書月間等を設けている小中学校】</b> 平成23年度 52校 平成24年度 58校 平成25年度 56校 平成26年度 56校 平成27年度 59校	朝や昼休み等に読書時間を設け読書の機会をつくり、計画に沿った形で施策に取り組むことができた。
特別支援学級の図書館利用	学校	学級単位での図書館利用を行う。	<b>【平成23年度】</b> 墨東特別支援学校出張お話し会 3回 49人	平成24年度以降実績がないことから、今後は特別支援学級へ向けた積極的なPRを行うことで図書館利用に繋げ、読書活動を支援する。
	図書館	特別支援学級の児童生徒の図書館利用を受け入れ、団体貸出等を行っている。		
区立図書館訪問	学校	学級単位で図書館に来館し、館内の資料を読んだり、団体貸出用の本を選ぶ。	<b>【調べ学習】</b> 平成23年度 120回 平成24年度 117回 平成25年度 72回 平成26年度 121回 平成27年度 129回	調べ学習の際に図書館を活用するなど、図書館の利用促進が図られた。情報の収集・活用方法等の学びに効果的な施策である。

3 図書館における読書活動の推進				
施策項目	所管	事業概要	取組み実績（平成23年度～平成27年度）	評価・二次計画での取り組み等
児童書の充実	図書館	平成21年度 全児童図書 の全館蔵書数（図書）に占 める割合21.4%	【児童図書蔵書数及び全児童図書の全館蔵書数（図書）に占める割合】 平成23年度 306, 314冊 21.0% 平成24年度 318, 797冊 21.3% 平成25年度 323, 528冊 21.3% 平成26年度 331, 263冊 22.0% 平成27年度 335, 593冊 22.3%	全児童図書の全館蔵書数（図書）に占める割合は年々増加している。 また、団体セットの充実や外国語絵本を増やすなど内容の充実も図った。
中高校生（ヤングアダルト）サービスの充実	図書館	読書離れ、図書館離れになっている中・高校生に対して、試験勉強や宿題以外にも図書館を利用してもらうことをめざしてコーナーを設けている。	・YAコーナーの設置 10館 ・YAノートの設置 2館	YAコーナーを設置やレイアウトなど、中高校生の読書環境を充実させることができた。 二次計画では、中高校生と図書館の交流を図り、YAサービスの更なる充実のための情報交換を検討していく。
サポートを必要とする子ども読書を支える資料の充実	図書館	平成21年度統計 外国語児童資料 2, 721冊 大活字児童書 81点 区作成の点字絵本 184点 その他録音図書、さわる絵本を所蔵	【平成23年度】 ・外国語児童資料 2, 721冊 ・大活字児童書 81点 ・区作成の点字絵本 184点 ・録音図書（テープ図書1, 688タイトル、デジター図書267タイトル、内児童書3タイトル） 【平成27年度】 ・外国語児童資料 3, 047冊 ・大活字児童書 212点 ・区作成の点字絵本 229点 ・録音図書（テープ図書1, 699タイトル、デジター図書419タイトル、内児童書8タイトル）	録音図書・デジター図書は大人（一般）向けが多く、大きな成果はでていない。 外国語児童資料は平成23年度と比較すると約300冊増加しており、取り組みの成果が見られた。 引き続き二次計画の中で、「障害のある子ども向けの資料の充実」「日本語を母国語としない子ども向けの資料の充実」に取り組む。
点訳絵本作成事業	図書館	図書館に登録している点訳ボランティアのグループに点訳を依頼し作成する。	図書館に登録している点訳ボランティアのグループに点訳を依頼	平成23年度からの5年間で、点訳絵本を45点作成した。 引き続き利用状況を踏まえ、点訳者へ作成を依頼し資料の充実を図る。
	点訳者	4グループ44名の点訳者が登録し、点訳絵本等を作成している。 区内の小中高校で「点字の授業」を毎年20校以上で実施している。	【点訳絵本所蔵数】 平成23年度 184点 平成24年度 184点 平成25年度 197点 平成26年度 227点 平成27年度 229点 【点字の授業】 平成23年度 20校 平成24年度 20校 平成25年度 20校 平成26年度 20校 平成27年度 16校	
音訳者養成及び録音図書の作成事業	図書館		録音図書等貸出要綱の改正を行い、録音図書等の貸出対象を視覚による表現の認識に障害のある者、郵送貸出対象者を身体障害者手帳1級又は2級の所持者に拡大	録音図書の作成及び対面朗読の技術の習得を目的に音訳者養成講座を実施し、サポートを必要とする子どもたちの読書環境の整備に繋げることができた。
	音訳者	2ヵ年計画で、録音図書の作成及び対面朗読の技術の習得を図ることを目的にして開講し、講座修了後、江東図書館及び江東音訳サービス（ボランティア団体）に登録のうえ、対面朗読や、録音図書・プライベートテープ・図書館発行の各種情報テープなどを作成している。	【登録音訳者】 平成23年度 63人 平成24年度 74人 平成25年度 75人 平成26年度 64人 平成27年度 65人 【音訳者養成事業】 平成23年度 前期講座15回 609人（延べ） 平成24年度 後期講座12回 396人（延べ） 平成25年度 上級講座4回 29人（延べ） 平成26年度 前期講座15回 231人（延べ） 上級講座6回 105人（延べ） 平成27年度 後期講座20回 232人（延べ） 上級講座3回 117人（延べ）	
図書館の改修計画等に合わせた館内レイアウトの見直し	図書館	乳幼児や親が安心して利用できるコーナーを作る。子どもが本を探しやすく、利用しやすいように本の配置や資料展示方法の見直しを行う。	【平成25年度】 江東図書館のリニューアルオープンに伴い、授乳室を新たに設置 【平成26年度】 砂町図書館のリニューアルオープンに伴い、おはなしのへやを拡大 【平成27年度】 豊洲図書館のリニューアルオープンに伴い、おはなしのへやキッズを新たに開設	改修工事に合わせハード面を充実させ、計画に沿って施策を展開することができた。
おはなし会の開催	図書館	絵本や素ばなし、パネルシアターなどで本の楽しさを伝えたり、本の紹介を行う。	【おはなし会】 平成23年度 563回 10, 483人 平成24年度 490回 7, 819人 平成25年度 506回 8, 214人 平成26年度 545回 10, 334人 平成27年度 553回 10, 401人 【よむよむさん（亀戸図書館）】 平成26年度 45回 346人 平成27年度 59回 653人	おはなし会を通して子どもたちへ読書の楽しさを伝えることができた。 二次計画では、ニーズに応じておはなし会の開催曜日・時間の見直しにより、拡充を図る。
(新)親子の読み聞かせ講座（ボランティアによる）	図書館	一部の館で親子おはなし会を実施している。また赤ちゃんおはなし会や乳児向けおはなし会では親子参加となっている。	【赤ちゃんおはなし会】 平成23年度 154回 4, 295人 平成24年度 203回 4, 769人 平成25年度 217回 5, 292人 平成26年度 267回 7, 447人 平成27年度 282回 8, 629人	赤ちゃんおはなし会を通して親子で絵本や読み聞かせに親しみをもつ、きっかけづくりができた。 実施回数・参加人数も年々増加していることから、今後は全館での赤ちゃんおはなし会の開催を検討する。

3 図書館における読書活動の推進				
施策項目	所管	事業概要	取組み実績 (平成23年度～平成27年度)	評価・二次計画での取組み等
出張おはなし会	学校 図書館	依頼を受けて各館エリア内の学校や学級に出向き、図書館ボランティアとの協働により読み聞かせ等を行う。	【出張おはなし会】 平成23年度 12回 814人 平成24年度 10回 643人 平成25年度 11回 585人 平成26年度 27回 2,023人 平成27年度 19回 1,400人	保育園・幼稚園等の要望に応じて出張おはなし会を実施することで、こどもたちの読書機会の拡充を図ることができた。
学級招待おはなし会	学校 図書館	学級単位で図書館を利用している。 団体貸出の選書を兼ねて学級単位で来館した機会に、おはなし会を行う。	【学級招待おはなし会】 平成23年度 11回 512人 平成24年度 8回 456人 平成25年度 7回 374人 平成26年度 14回 681人 平成27年度 17回 721人	学級招待おはなし会を通してこどもたちへ読書の楽しさを伝えることができた。今後はPR方法を工夫し、更なる利用促進を図る。
団体貸出	図書館	学級、学校、園単位で登録を受付。貸出期間は1ヶ月とし、配本・回収を行う。	【登録団体・児童書貸出数】 平成23年度 507団体 77,337冊 平成24年度 570団体 80,911冊 平成25年度 643団体 86,731冊 平成26年度 513団体 96,775冊 平成27年度 533団体 106,199冊	児童書貸出数は年々増加しており、計画に沿って施策に取り組むことができた。
図書館見学受入	図書館	各館エリア内の小学3年生の社会科見学事業のサポート。館内の見学や、本の探し方、読み聞かせ、本の紹介をする。	【図書館見学 (小学校・中学校・保育園・幼稚園・児童館)】 平成23年度 37校 2,220人 平成24年度 36校 3,712人 平成25年度 35校4園 3,989人 平成26年度 32校4園 4,076人 平成27年度 30校7園1館 3,164人	図書館見学を受け入れ、バックヤードや書庫など普段入ることができないエリアの見学、本の探し方・並べ方を知ってもらうことで、図書館への興味を引き出し、図書館の利用へ繋げることができた。
職場体験受入	学校 図書館	地域の図書館と連絡調整して、生徒の職場体験を実施する。 各館エリア内の中学生の職場体験を受入れる。	【職場体験】 平成23年度 29回 61人 平成24年度 39回 93人 平成25年度 20回 48人 平成26年度 32回 74人 平成27年度 31回 70人	職場体験を通して図書館業務を経験することで、こどもたちの図書館への興味や仕事に対する関心をより引き出すことができた。
高校生インターンシップの受入	学校 図書館	地域の図書館と連絡調整して、生徒のインターンシップを実施する。 区内の高校が実施する職場体験や進路指導の一環としてのインターンシップを受け入れる。	【高校生インターンシップ】 平成23年度 10回 20人 平成24年度 11回 20人 平成25年度 2回 5人 平成26年度 4回 8人 平成27年度 2回 4人	平成25年度以降、実績が減少している。二次計画ではPRを強化し、新たに高校生ボランティアの受入を行う。
学校訪問・新1年生への利用ガイド・おはなし会等の実施	学校 図書館	各館エリア内の小・中学校新1年生を対象に学校へ訪問し、本の紹介、冊子「こどものほんだな」の配付、図書館の利用ガイダンスやおはなし会を行う。	【学校訪問】 平成23年度 45回 3,478人 平成24年度 46回 3,324人 平成25年度 41回 3,290人 平成26年度 40回 3,402人 平成27年度 39回 3,161人	学校訪問を実施し、新一年生を対象に図書館の利用ガイドやおはなし会を行うことで読書意欲を高め、図書館の利用促進を図ることができた。
学校図書委員交流事業	学校 図書館	各図書館のエリアごとに参加希望校を募り、読書週間等での交流事業を行う。	企画事業「図書委員おすすめの本の紹介」、図書館見学を実施 【参加学校数】 平成23年 小学校 26校、中学校 12校 平成24年 小学校 23校、中学校 5校 平成25年 小学校 24校、中学校 5校 平成26年 小学校 30校、中学校 8校 平成27年 小学校 26校、中学校 7校	読書週間の企画事業として「図書委員おすすめの本の紹介」を実施し、学校図書委員との交流を図ることができた。また、紹介文は各図書館で掲示・ホームページに掲載し、広くこどもたちへ発信することができた。
(新)こどもとしょかんをモデルとした学校図書館連携事業	学校 図書館	白河こどもとしょかんにおいて、元加賀小学校図書室と隣接している特性を生かし、「小学生によるこどもとしょかん運営事業」等の学校図書館連携モデル事業を行う。また、こどもの読書活動推進に取り組むボランティアの活動を支援する。	【ドア開放】 平成23年度 48回 1,635人 平成24年度 83回 2,298人 平成25年度 64回 1,767人 平成26年度 131回 3,043人 平成27年度 155回 4,027人 元加賀小学校の新一年生を対象にブックトークを実施	白河こどもとしょかんと元加賀小学校図書室を繋ぐドアを開放し、図書館の利用促進を図った。実施回数・参加人数は年々増加しており、白河こどもとしょかんの特性を活かすことができた。
(新)学校図書館とのネットワーク連携	学務課 図書館	区立図書館と学校図書館相互の資料データベース等のネットワーク化を図り、児童や生徒の読書活動や調べ学習を推進する。	図書館資料のデータベース検索の充実、図書館での調べ学習、調べ学習セットの貸出を実施	図書館と学校図書館のネットワーク連携については未実施であるが、図書館ホームページの資料のデータベース検索の充実、図書館での調べ学習、調べ学習セットの貸出により連携を図った。
ブックリスト作成配付	図書館	「こどものほんだな」(小学校対象)を隔年編集のうえ発行し、区内全小学校に配付する。また平成22年度からは「中学生へのおすすめ本」(中学生対象)を作成する。	【こどものほんだな】 平成23年度 29,000部 平成25年度 30,000部 平成27年度 30,000部 【ぶっくなび】 平成24年度 15,000部 平成26年度 17,000部	小中学生それぞれを対象に、推薦図書等を掲載したブックリストを作成・配付し、読書活動の啓発を図った。二次計画ではブックリストを「普段読書をしていない」「どんな本を読めばいいかわからない」こどもたちの読書活動のきっかけづくりに活用していく。

3 図書館における読書活動の推進				
施策項目	所管	事業概要	取組み実績（平成23年度～平成27年度）	評価・二次計画での取組み等
児童用図書館ガイド（事業概要）の作成	図書館	児童の社会科見学をサポートする児童用図書館事業概要として「としょかんたんけん」を作成する。	【としょかんたんけん】 平成23年度 4,000部 平成24年度 4,000部 平成25年度 6,000部 平成26年度 5,500部 平成27年度 5,500部	図書館の利用案内や統計資料を掲載した「としょかんたんけん」を作成・配付し、図書館の利用促進を図ることができた。
難聴児への読み聞かせ	特別支援学校 図書館	図書館と年間計画を調整して読み聞かせボランティアを受け入れ、実施している。 都立大塚ろう学校江東分教室へ図書館ボランティアとの協働により、絵本の読み聞かせを行う。	【江東ろう学校おはなし会】 平成23年度 16回 408人 平成24年度 11回 297人 平成25年度 11回 223人 平成26年度 10回 201人 平成27年度 11回 277人	都立大塚ろう学校江東分教室の協力により、おはなし会の開催を継続することができた。引き続き二次計画の中でも連携を図っていく。
特別支援学校及び学級の児童・生徒の図書館利用	学校 図書館	特別支援学校及び学級の児童・生徒が来館した時に絵本の読み聞かせ等を実施し、団体貸出等を行っている。	図書館見学、団体貸出を実施	数値として実績を把握していないため、成果がわかりづらいが、特別支援学校及び学級の図書館見学の受入・団体貸出を通して読書活動を支援することができた。
(新)地域ボランティアによる読書サービスの実施	学校 図書館	特別な支援を必要とする児童・生徒や日本語を母国語としない児童・生徒並びに長期療養児等へのボランティアによる読み聞かせ等を実施する。	・外国語おはなし会を実施 ・病院との連携を検討	おはなし会のプログラムの一部として外国語の読み聞かせを実施することができた。今後は、豊洲図書館を中心に病院と連携し、療養児への読み聞かせなどを検討していく。
4 地域が連携して取り組む読書活動の推進				
施策項目	所管	事業概要	取組み実績（平成23年度～平成27年度）	評価・二次計画での取組み等
(新)ボランティアのネットワーク化	図書館	地域で活動するボランティア団体やNPOなどのネットワーク化を推進、相互の交流を促すことで広域的な活動を支援する。	【平成27年度】 月1回、江東図書館・深川図書館（交代制）で読み聞かせボランティア交流会を開始	読み聞かせボランティア交流会を実施し、ボランティアのネットワーク化を図り、読み聞かせのノウハウ等を共有化させることができた。今後は「交流会」を「勉強会」にレベルアップさせることで、施策を発展させていく。
(新)地域団体・企業等の地域貢献事業調査	図書館	一部の民間事業所での乳児親子を対象に図書館資料を活用した読み聞かせの地域貢献事業が始まっている。子育て中の親子の対象のおはなし会等に資料の貸出を行っている。	【区民協働提案事業】 平成24年度「こうとうむかしばなし」を実施 平成26年度「はじめての読み聞かせ」を実施	地域団体・企業等の地域貢献事業調査は実施することができなかったが、区民協働提案事業を通して講座を開催し、地域団体との連携を図った。
(新)書店や商店街との連携	図書館	地域のイベントや行事等で、こどもの読書活動に関する事業に連携して取り組む。	実績なし	二次計画の中で、地域との関わり方を具体的に検討していく。
5 こども読書活動に関する意識を高めるための啓発				
施策項目	所管	事業概要	取組み実績（平成23年度～平成27年度）	評価・二次計画での取組み等
こども読書活動に関する広報の充実	図書館	おはなし会等の開催情報を館内掲示やホームページで広報している。	図書館ホームページ等を活用し、こども読書活動推進に関する情報・資料の広報を実施	図書館ホームページ等を活用することで、おはなし会・団体貸出セット等の利用促進を図ることができた。
「幼児を持つ親の学級」等の社会教育事業との連携	庶務課（社会教育担当）	幼児をもつ親を対象に本とこどもの成長についての理解を促す。さらに、本を選ぶときの視点や読み聞かせを行う場合の注意などについて図書館児童担当から学ぶ機会を提供する。	【幼児を持つ親の学級（春秋2コース）】 平成23年度 45人 平成24年度 44人 平成25年度 45人 平成26年度 50人 平成27年度 50人	庶務課（社会教育担当）と連携し、「幼児を持つ親の学級」を実施することで、「読み聞かせの方法・図書館の利用の仕方」等を学ぶ機会を提供することができた。
	図書館	講座のカリキュラムに図書館職員を派遣して、こどもの本や読み聞かせに関するアドバイスや図書館利用ガイドを行う。	【幼児を持つ親の学級へ図書館職員及び読み聞かせボランティアを派遣】 平成23年 2回 2人 平成24年 2回 2人 平成25年 2回 2人 平成26年 2回 2人 平成27年 2回 2人	
(新)「家庭教育学級事業（障害児・者をもつ親のための学級）」との連携	障害者支援課 図書館	「障害児・者をもつ親のための学級」との連携に取り組む。	相談を受けた場合に、図書館職員が適宜アドバイス等を行っている。	「障害児・者をもつ親のための学級」の内容がこどもを対象としたものではなく、大人（一般）を対象としたものであるため連携が困難であった。二次計画では施策を見直し、こども発達センターと連携を図ることで、障害のあるこどもたちの読書活動の幅を広げる支援を検討していく。

5 こども読書活動に関する意識を高めるための啓発				
施策項目	所管	事業概要	取組み実績（平成23年度～平成27年度）	評価・二次計画での取組み等
(新) こども読書コンクール	図書館	読書に関するポスター、標語、作文、感想文等のコンクールを開催する。	実績なし	本の帯コンクール等を検討したが、審査等の課題があり実施に繋げることができなかった。 二次計画の中で各成長段階に合わせたイベントを開催し、こどもたちの読書に対する興味を引き出す。
「子ども読書の日」の取り組み	図書館	「子ども読書の日」（4月23日）と前後するこどもの読書週間にテーマ展示等を行っている。	一部の図書館で資料展示やスペシャルおはなし会等を実施	「子ども読書の日」と前後するこどもの読書週間に資料展示やスペシャルおはなし会を実施し、読書活動の啓発を図った。 平成28年度からは全館でイベントを実施し、こどもの読書活動を推進する。
6 こども読書活動に関わる人材の育成				
施策項目	所管	事業概要	取組み実績（平成23年度～平成27年度）	評価・二次計画での取組み等
「こども読書環境サポーター」の育成・活動支援	図書館	「社会教育活性化21世紀プランのモデル事業で育成を開始した「読み聞かせボランティア」や「こどもの本の修理人」活動のレベルアップを図る。	【こども読書環境サポーター登録者】 平成23年度 41人 平成24年度 53人 平成25年度 54人 平成26年度 54人 平成27年度 64人	こども読書環境サポーター養成講習会を開催し、読み聞かせボランティアのレベルアップを図ることで、活動の充実に繋げることができた。
(新) 読み聞かせボランティアによる講師としての活動	図書館	子育て支援施設等で、「こどもの読書環境サポーター」による読み聞かせの実演を行い、職員に読み聞かせのノウハウを伝える。	【乳幼児健診おはなし会（区職員同伴）】 平成23年度 140回 平成24年度 160回 【乳幼児健診おはなし会（サポーターのみ）】 平成25年度 195回 平成26年度 217回 平成27年度 254回	読み聞かせボランティアによるおはなし会の依頼は年々増加しているが、講師としての依頼は少ないため、二次計画の中で、読み聞かせボランティアの活動の拡大を進めていく。
こども読書連携団体との連携・活動支援	庶務課 (社会教育担当)	家庭教育学級の開設時にこども読書関連団体のメンバーを講師に招いている。「こどもと絵本、よみきかせ」など	【地区家庭教育学級】 平成23年度 こども読書活動に関連するテーマはなし 平成24年度 第五砂町小学校「読み聞かせは家族のコミュニケーション」 108人 平成25年度 みどり幼稚園「こどもと絵本の楽しみ方」 43人 南砂第一保育園「幼児と絵本」 35人 平成26年度 東陽保育園「親子で絵本に親しむ、絵本を楽しむ」 105人 平成27年度 つばめ幼稚園「聴くから変わる笑顔の子育て」 64人	地区家庭教育学級（庶務課社会教育担当）を通して、「絵本を活用したコミュニケーション・読み聞かせの楽しみ方」を伝えることができた。 また、読み聞かせグループの自主活動の支援を行い、計画に沿って事業展開することができた。
	図書館	読み聞かせグループ等が図書館を会場に定例会を行っている。	【平成23年度～平成27年度】 月1回、読み聞かせグループ「江東子どもの本研究会」が定例会を実施（深川図書館）	
7 読書推進体制の整備				
施策項目	所管	事業概要	取組み実績（平成23年度～平成27年度）	評価・二次計画での取組み等
こども読書活動推進計画の進捗の把握	図書館	「江東区こども読書活動推進計画」の各施策に関わる事業の進捗状況を調査し広報する。	【平成23年度～平成27年度】 「江東区こども読書活動推進計画」進捗状況調査を実施 【平成27年度】 「第二次江東区こども読書活動推進計画」を策定	「江東区こども読書活動推進計画（一次計画）」の進捗状況調査・評価を行い、「第二次江東区こども読書活動推進計画」の施策へ反映させることができた。